



2021年3月2日

各 位

会社名 株式会社ビーアンドピー
代表者名 代表取締役社長 和田山 朋弥
(コード番号：7804、東証マザーズ)
問合せ先 取締役 清水 明
(TEL. 06-6448-1801)

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、かねてより事業基盤の拡大、中長期的な成長を目指して新たな事業の準備を進めておりましたが、このたび、新規事業としてデジタルサイネージ事業を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は、インクジェットプリントサービスを事業とし、販売促進用の広告分野において長年に亘る実績やノウハウの蓄積により受注を拡大してまいりました。また、広告だけでなく、インクジェットの技術を活用し、壁紙などのインテリア商品など幅広い市場を対象として事業を展開しております。インテリア分野においては、大手企業からの受注増加に伴い、順調に業績を拡大してまいりました。

一方、世の中ではデジタル技術が進歩し、リアル店舗からEC店舗へ、また、紙媒体からデジタル媒体への転換が進み、これに伴い広告や印刷の在り方も見直されています。当社としても、リアル領域とデジタル領域を融合させるために、デジタルサイネージ事業を開始することといたしました。デジタルトランスフォーメーションの一環として、インクジェットプリントによるリアルな紙媒体の広告と、デジタル技術を駆使したサイネージ、この2つを両輪に事業を拡大し、さらなる成長を目指します。

2. 新たな事業の概要

「広告サインを知り尽くしたインクジェット出力会社が運営するデジタルサイネージ」をコンセプトに、本市場で先行する企業のソリューションとは一線を画し、当社が強みとするセールスプロモーションに関するノウハウを最大限活用したデジタルサイネージを小売業を中心に展開してまいります。

小売店舗の商品棚や店内装飾のデジタル化を提案し、来店することで体験できる楽しさや商品の実体験など、ネットでは体験できない新たな売り場演出により、消費者が来店したくなる店舗づくりを支援します。また、デジタルサイネージソリューションではPC操作ひとつで展示の入れ替えが可能になるため、店舗では省人化や顧客ロイヤリティを高める接客時間を増やすことができます。

当社は直接的な時間や費用の削減だけではなくクロスセル・アップセルにつながるサイネージによるデジタル化を提案し、販売促進活動に貢献します。

3. 今後の見通し

今期の当社業績に与える影響につきましては、現段階において軽微であると考えておりますが、早期の業績貢献を目指すとともに、さらなる市場拡大が見込まれるデジタルサイネージ市場で確固たるシェアを確保し、中長期的には当社の主軸事業の一つとして成長することを見込んでおります。

以上